

会議録

会 議 の 名 称	第5回三鷹駅北口街づくりビジョン改定委員会
開 催 日 時	令和8年8月4日(火) 18:00～20:00
開 催 場 所	武蔵野市かたらいの道市民スペース
出 席 者	饗庭 伸 東京都立大学教授 大沢 昌玄 日本大学教授 田口 友子 株式会社三菱総合研究所 主任研究員 臺 孝之 三鷹駅北口周辺のまちづくり関係者 矢作 真由美 三鷹駅北口周辺のまちづくり関係者 清水 一史 公募市民 平野 亜紀子 公募市民 高橋 弘樹 武蔵野市
会 議 の 議 題	1 第4回改定委員会振り返りなど 2 ビジョン改定素案について 3 その他

発言者	発言の要旨
	1. 第4回改定委員会の振り返り ～事務局より説明～
副委員長	2. ビジョン改定素案について ～事務局より説明し、その後質疑応答、意見交換～ 補助幹線道路整備とかたらいの道歩行者専用道路化は道路拡幅整備と道路リメイクでカテゴリーが異なるので、分けて整理した方がよい。 補助幹線道路には愛称をつけてはどうか。愛着が生まれるきっかけになるのではないかな。
事務局	道路課に通称名の設定に関する要綱がある。連携しながら進めていく。
A 委員	商業を活性化する、といった時にどのような商業がこのエリアにはふさわしいのか、検討する必要があるのではないかな。個人店などが地域資源になっていると考えられる。
A 委員	このエリアにとって、横河グラウンドのインパクトは大きい。今ある地域資源を守っていく視点で、土地利用方針に市としての思いを記載しても良いと思う。
委員長	住宅に関しては市の方針をはっきり示した方が良いのではないかな。今後のまちづくり条例運営のサポートにもなると思う。
B 委員	三鷹駅周辺は住宅地として人気が高い。人が増えるのは反対ではない。 駅前の商業地で住宅を整備する場合は、低層に飲食などの商業を入れるなど言葉として入れたらどうか。市としての意向、各委員の意見はどうか。
事務局	商業地域には商業・業務を積極的に誘導していきたいという思いがある。
C 委員	住宅整備に対しては賛成。1階部分に商業施設を配置するなどすれば良いと考える。
D 委員	住宅については賛成でも反対でもない。1階に店舗があれば、例えば夜でも明かりが付いていて安心だと思う。一方で、住宅が増えすぎると、駅が混雑することも予想される。バランスが重要だと思う。
A 委員	何も方針の無い住宅整備で良いか、というと賛成できない。例えば子育て世帯など、居住を期待する世帯が住みやすい住宅整備などを考えとして示しても良いのではないかな。
委員長	既に駅前エリアに住宅があり、今後住宅整備を是とするのであればビジョンでのゾーン名も変更したほうが良いのではないかな。
委員長	どこに何をどれくらいやって、その結果、課題がどれくらい解決したか、というアウトプット・アウトカムの読み方ができれば良い。リソースが限られているので、重点投資先を絞らないとぼんやりした記載になってしまう。 土地利用の機能導入では住宅について言及、景観は高さについて言及する、など明確化してはどうか。交通環境は自転車に関する課題が大きい印象だが、どこに何をどうしたいのか明確にすべきではないかな。地域資源については、玉川上水やかたらいの道などをあわせて1つとして捉えて検討してみてはどうか。

	○目指す街の姿について
D 委員	街との関わりが生まれ、つながりが生まれて広がっていく、一方で絶対誰かとつながる、という意味ではなく、一人でも心地よい街、というニュアンスがあると良い。
A 委員	進化という言葉だと既存の文化や歴史が守られるイメージが薄い。現行ビジョンの策定時から一人ひとりの価値観の多様化が進んでいると考えられるため、いろんな価値観を受け入れた進化・更新が行えるよう、ビジョンの施策で支えていく、ということかと思う。 また、「目指す街の姿」に副題として記載されている内容は、次の「目指す街の姿の実現に向けて」として説明を入れることとし、タイトルのみにしても良いかと思う。
E 委員	自宅や会社への単なる通過動線ではなく、仕事とくらしの間に地域との関わりが生まれることで心地よい街になっていく、という意味を込められると良い。例えば、仕事とくらしの間に地域とのかかわりが生まれるまち、など。
副委員長	第2世代にも選んでもらう、住み続けられるという方向性は感じられると良い。
D 委員	三鷹ラボでは、住民、商店会、周辺企業の住む人と働く人のつながりが生まれ始めている。住む人・働く人に寄り添うような街が結果的に地域への愛着につながっていくのではないかな。
	○土地利用・交通環境・地域資源の3分野について
委員長	みどり、景観、地域活動支援を「地域資源」でまとめる。 土地利用や交通環境が良くなることで地域資源が増える・輝く、という構造にも思える。 吉祥寺とは違い、大きな開発が必要なエリアではなくて、居場所づくりなどを小さくやる。
	○アクションについて
委員長	土地利用では足元ににぎわいを誘導していく方針だと思うが、事業者側のメリットにも言及してはどうか。
副委員長	駅前広場の機能向上として記載されている「完全歩車分離構造」はデッキ整備の誤解を生まないように、平面であること明記したほうが良い。
委員長	自転車駐車場の整備方針はどうか。
事務局	現状の自転車駐車場で充足しているので新設する予定はない。 今後は中町第1・第2自転車駐車場の将来的な活用を見据え、民間開発の機会を捉えるなどして、民地内での整備を求めていくことが考えられる。
委員長	自転車駐車場の整備と書くと新設するイメージに思えるため、再配置という表現の方が適している。
副委員長	自転車事故防止の取り組みとして、補助幹線道路より南側は歩行者優先ゾーンとし、補助幹線道路近傍に駐輪場を再配置することで自転車を停めた後に歩くようにする、という方針もあり得るのでは。
E 委員	緑に関して、今後の大きなコンセプトが見えるようなビジョンにしてほしい。
委員長	駅を出て目の前に緑があるのは三鷹駅の特徴。これは大事にすべきだと思う。
D 委員	夏の暑さが厳しくなって、木陰の価値が高まっている。アクションとして木陰を増やすということを記載しても良いのでは。

E 委員	イチョウは在来種ではなく、道路整備と合わせて戦後増えた街路樹。駅前の改修時には在来種の武蔵野市らしい樹木選定としても良いのではないかな。
委員長	かたらいの道の駅側には街路樹がないので、かたらいの道へのアクションの中で整備を検討していくべきでは。
委員長	三鷹駅北口というネーミングも検討してはどうか。「北口」はただの方向であるため、何かまちの方向性が見えるような名前に変えると良いのでは。三鷹ラボでも議論してはどうか。
B 委員	駅の出口で行政区が変わるのは珍しい。三鷹駅は三鷹市と思っている方も多い。武蔵野市のイメージを高めるためにも変えた方が良いと思う。
	3. その他 ～事務局より事務連絡～ 今後のスケジュール説明 以上